

JSPS Information

- ◇第5回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第1期役員名簿
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第5回運営委員会議事録

開催日時：1992年12月2日(水) 18:00—21:00

開催場所：宇宙科学研究所6階会議室

出席者：中沢・武田・山本・杉浦・磯部・海老原・加藤・川口・高木・留岡・福岡・藤井・藤原・松井・向井・村江・柳川（以上出席者）・荒川・大谷・北村・寺沢・土山・林・矢内（以上委任状）・井田・阿部（以上オブザーバー）

I. 報告

(1) 第4回運営委員会

次期役員選挙のための選挙管理委員会発足が急がれたため、急遽書面による委員会開催となった経緯につき中沢会長より説明があり、また、同委員会の議決についても報告があった。更に同会長より、入退会等極めて事務的な議事以外については今後できるだけ書面委員会を避けたい旨発言があった。

(2) 学会誌第2号発行遅延について

学会誌第2号（9月25日発行予定）の発行が遅れたことにつき、中沢会長より以下の通り説明があった。編集委員会および事務局の負担を軽減するため、会誌第2号より編集作業及び印刷を(株)東大教材出版に委託したが、双方とも不慣れであったため、編集・校正作業の所要時間見積を大幅に誤ったことが発行遅延の原因である。今後はこの

経験を生かし予定通りの発行に努めたい。

(3) 将来計画専門委員会報告

同委員会が実施した各大学理学部長宛の“惑星科学関連学科、講座等の実態調査”の集計状況について留岡委員長より発言があり、46大学・学部発信中、約3/4にあたる34大学・学部より回答があったこと、回答の中には重要な指摘が含まれていること、詳細な分析はこれから開始すること、などが報告された。

(4) 電子メール使用実態調査の報告

第1回運営委員会で依頼してあった同調査の報告が高木委員より以下の通り行われ、(a)本会会員名簿（当時会員数250名）に記載されていた110名を対象に日本語環境、login頻度、返信所要時間等の調査を行ったこと、(b)その結果、約6割から回答があり、そのうち約2/3は3日以内に response があった。回答者の内2/3以上は1日に1回以上 login しており、また、日本語のメールに関しても国内の方は1名を除いて読めるという回答であったこと、が報告された。この結果を参考にして、今後本会の情報伝達手段として電子メールを使用する方法等につき、高木委員をも含め幹事会で検討したい旨中沢会長より提案がありました承された。

(5) 財務報告

本会の財政状況につき、杉浦財務専門委員長より資料に基づき報告があり、現在のところ収入、

支出は概ねバランスしているが、今後の支出予定も考えると財政状況は依然苦しい旨報告があった。これをうけて、中沢会長より、更に賛助会員を増やす努力をして欲しい旨、発言があった。

(6) 天文研連長期将来計画小委員会の報告

磯部委員より同委員会の活動状況の報告があり、日本惑星科学会から積極的に同小委員会にコミットして欲しい旨要請があった。特に来春の天文学会における将来計画シンポジウムには日本惑星科学会から報告者を送って欲しいとの要請があった。これに対し、中沢会長よりコミットメントの方法を幹事会で検討し、次回運営委員会で議論したいとの提案があり了承された。

(7) Mars94/96スモールステーション購入について

松井委員より、Mars94/96スモールステーション購入についてロシア側から個人的に話を持ちかけられている旨報告があり、本学会として何らかの対応が出来ないものか検討して欲しい旨提案があった。このような話が今後も起こり得ることを考え、(a)この種の問題に対して本学会として正式に対応する場合の一般原則を明確に打ち出すこと、また、(b)惑星探査計画及びその支援体制につき学会としての方針をもっておくこと、が重要であり、本会としてはまずこのような視点から検討を始めることが了承された。

II. 議事

(1) 委員会成立の確認

欠席者はなく、委員会成立が確認された。

(2) 次期役員選挙について

まず中沢会長より第4回運営委員会（書面）での投票により、次期役員選挙のための選挙管理委員として、海老原充、寺沢敏夫、林正彦、福岡孝昭各運営委員が選ばれ、11月6日藤原総務専門委員長を選挙管理委員長とする選挙管理委員会が発足した旨報告があった。

ついで藤原選挙管理委員長より、第2期役員選挙スケジュール、投票方法についての原案が提示

され、また中沢会長より選挙広報（案）が示された。これらをもとに議論した結果、第2期役員選挙を以下の通り実施することにした

(a) スケジュール

11月6日 選挙管理委員会発足

11月10日 次期会長推薦受付開始

12月10日 同締切

1月25日 次期会長及び次期運営委員投票開始

2月25日 同締切

3月20日 新旧合同運営委員会開催

(b) 投票方法

- ・会長及び運営委員の選挙は同時に行う。
- ・運営委員の選挙は12名連記として行う。
- ・投票に際して、選挙広報、投票用紙、内封筒、返信用ラベルを全会員に送付する（返信用切手、返信用封筒は各会員負担）。
- ・選挙広報には有権者名簿をつける。その際専門分野も付す。

(3) シンポジウム開催について

中沢会長よりシンポジウムプログラム案が示され、了承された。講演題目等詳細は佐々木企画部長に一任することとした。またシンポジウム開催に関連して、シンポジウムの内容を「遊・星・人」第2巻第2号に特集として収録したい旨向井編集専門委員長より発言があり了承された。講演者等への原稿依頼は佐々木企画部会長にお願いすることとした。

(4) その他

(a) 井田編集専門委員会幹事より、会誌第2巻第1号の原稿がたまたま在外者執筆分が多く、手書きの状態では編集部を持ち込まれるため、ワープロ入力のためのアルバイトを雇い上げたい旨提案があり了承された。

(b) 次回運営委員会日程

次回運営委員会は3月下旬の地球惑星関連学会春期合同大会時に予定する。

◇日本惑星科学会第1期役員名簿

会長

中沢 清 (東工大・理)

副会長

武田 弘 (東大・理)

水谷 仁 (宇宙研)

監事

中野 武宣 (天文台)

松田 准一 (阪大・理)

運営委員・幹事

山本 哲生 (宇宙研)

運営委員・幹事・財務専門委員長

杉浦 直治 (東大・理)

運営委員・総務専門委員長

藤原 顕 (宇宙研)

運営委員・編集専門委員長

向井 正 (神戸大・理)

運営委員・将来計画専門委員長

留岡 和重 (神戸大・理)

運営委員・対外協力専門委員長

松井 孝典 (東大・理)

運営委員

荒川 政彦 (北大・低温研)

磯部 琇三 (天文台)

大谷 栄治 (東北大・理)

海老原 充 (都立大・理)

加藤 学 (名大・理)

川口淳一郎 (宇宙研)

北村 雅夫 (京大・理)

高木 靖彦 (東邦学園短大)

土山 明 (阪大・教養)

寺沢 敏夫 (東大・理)

林 正彦 (東大・理)

福岡 孝昭 (学習院大・理)

藤井 直之 (名大・理)

村江 達士 (九大・理)

柳川 弘志 (三菱化成生命科学研)

矢内 桂三 (極地研)

学会連合等部会長

中川 義次 (東大・理)

企画部会長

佐々木 晶 (東大・理)

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

1993年1月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します(五十音順)。

(株)大林組

清水建設(株)宇宙開発室

(株)ジュンテンドー

(株)竹中工務店

(財)日本宇宙少年団

日本電気(株)宇宙開発事業部

(株)日立製作所

(株)本田技術研究所

(株)三菱プレシジョン

(財)リモートセンシング技術センター